



にじいろ通信

Rainbow color communication

一人はみんなのために みんなは一人のために




春の国分城山

CONTENTS

- P2 新年度 事務長挨拶
- P3 MRI 機器の紹介
- P4・P5 対談シリーズ「化学療法開始にあたって」
- P6 部門紹介～地域包括ケア病棟
職員紹介～リハビリ・香川勇治
- P7 第2回地域連携学習会報告
- P8 2018年度医師体制のお知らせ



 鹿児島医療生活協同組合
国分生協病院

事務長
あいさつ
message



国分生協病院 事務長
小園 直人

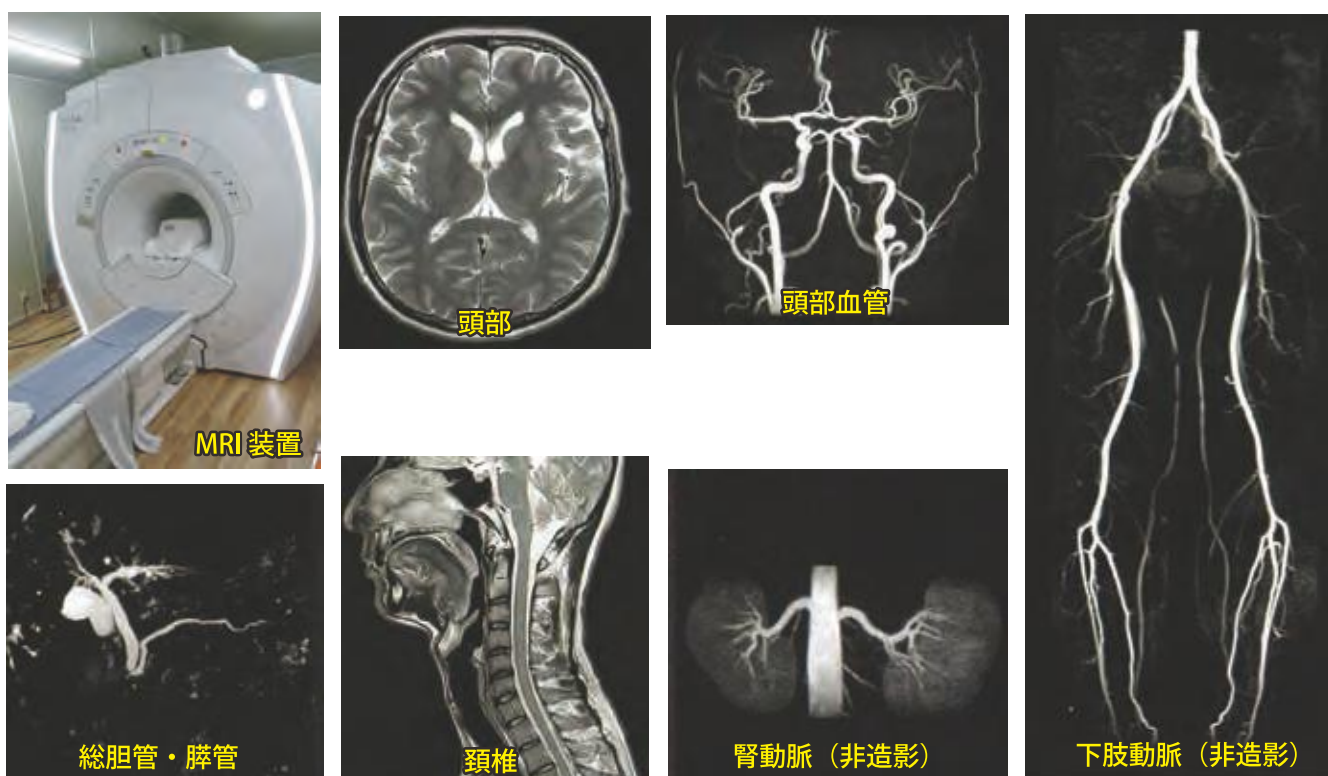
日頃は大変お世話になっております。当院は昨年11月に霧島市役所正面に移転開院することができました。特に移転の際には、地域の先生方に多大なご支援を頂きました。この場をお借りして感謝申し上げます。

新しい病院は129床と旧病院と変わりありませんが、6床部屋をなくして最大でも4床部屋とし、要望の多い個室を増やしました。新しい医療機器（MRIや骨密度測定、一酸化窒素測定装置）も順調に稼働しており、新たな取り組みとして外来における化学療法や禁煙外来等も開始しております。旧病院についてはこの程、解体することが決定し昨年末から順次、作業にとりかかっているところです。

さて、私たち医療機関にとって2018年度は診療報酬・介護報酬の同時改定の年であり、地域医療を守る立場でどのような医療提供体制を構築していくかが問われる年といえます。入院基本料の考え方が変わり、この地域において数少ない急性期病床をいかに継続させていくか当院でもその影響と対応に頭を悩ませております。地域包括ケアを推進する視点で更に病棟から在宅医療、訪問看護や介護サービス等の連携が必要となっているのは周知の通りです。また、社会保障財政の厳しさから医療機関を取り巻く経営環境は厳しさを増し、少子化の影響や若者の大都市志向もあり人手不足も深刻さを増しています。そうした厳しい環境の中でも私たちは、救急輪番やCCUの対応を継続し、また地域の先生方との繋がりを深め、協力し合うことで、これまで以上に地域医療に貢献していきたいと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。

新規導入～MRI装置の紹介

2017年11月の新病院移転に伴い、放射線室では新たにMRI装置と全身用骨密度測定装置を導入しました。MRI装置はGE社製の1.5T（テスラ）の装置で、頭部や腹部、血管などを高画質で映し出すことができます。これまでCTで判断できなかった初期の脳梗塞や、胆管・膵管などの消化器系の病気の診断に大きな力を発揮します。また、造影剤を使用することなく、腎臓や下肢の血管を映すことも可能で、診断の幅が大きく向上しました。体内に金属が入っている方や閉所恐怖症の方など検査できない場合もありますが、様々な病気の早期発見に繋がっていきます。



事例1（MRI装置が有用であった事例）A氏（60代男性）

早朝、回転性めまいと嘔吐にて当院へ救急搬送。

来院時、理学所見で右上肢の麻痺を伴うため、頭部CT・頭部MRIを施行。

⇒MRI上、右小脳半球および左前頭葉頭頂部にDWIで高信号多発にて、「多発性脳梗塞」と診断。

脳外科のあるB施設に紹介することとなりました。

上記事例のように、MRI導入によって初期診断に有効活用することが出来るようになりました。当院は、7：1の急性期病棟であり、連日、重症患者、救急患者を多く診断しています。今回のMRI導入によって、地域の医療機関のお役に少しでも立てればと考えております。今後とも、御紹介の程よろしくお願い致します。

霧島地域での化学療法の確立を
目指します。

対談シ

化学療法
に

外科医 副医局長

鈴木 伸也

谷口：国分生協病院外科の特徴を教えてください。

鈴木：当院外科では虫垂炎や胆嚢炎などの急性疾患だけでなく、胃がんや大腸がんなどの悪性疾患に対しても手術による治療を行ってきており、術後患者さんのフォローを行っています。現在でもほとんどの悪性疾患治療の第一選択は手術ではありますが、近年のがん治療の進歩により、化学療法や放射線療法などの選択肢が増え、悪性疾患罹患後の生存率が改善してきました。

谷口：国分生協病院のこれまでの化学療法のことについて教えてください。

鈴木：当院でも化学療法を行っていた時期があったようですが、5年以上前より行われなくなりました。これにより、化学療法に関わることのできるスタッフもほとんどいない状態となってしまいました。また、化学療法で使用する抗がん剤は毒性が強く専用のキャビネットが必要でしたがそれもなく、化学療法を行う上でのマニュアルも整備されていませんでした。



税所医師 診察風景



化学療法室 メンバー

谷口：国分生協病院で化学療法を再開しようと思われたのはどうしてでしょうか？

鈴木：私は2014年6月に当院へ赴任後、手術を行ってきた患者さんに対し化学療法が必要と判断した場合には、化学療法も自分の責任で行いたいなという考えを持っていましたが、看護師をはじめとした多くのスタッフの協力が必要な治療であるため、自分一人ではできないものではないことは理解していました。そんな中、ある日の当直帯で診療を行った40代女性患者がいました。腹痛を主訴に夜間受診され、腹部CTの結果、胃十二指腸潰瘍穿孔の診断で緊急手術が必要と判断、鹿児島市内の病院へ紹介搬送しました。術後経過は良好で軽快退院されましたが、胃穿孔の原因がスキルス胃がんであることが判明しました。スキルス胃がんは胃がんの中でも悪性度が強くほかの臓器にがんが及んでいる可能性が高いため術後は化学療法が必要であり、本人は霧島市在住であったため、これを当院で行って欲しくないかという依頼を

住み慣れた地域での治療が出来る
環境を提供したいと考えます。

リリース

開始
あたって

外来看護師主任

谷口 順子



化学療法室の様子

いただきました。しかし当院では、点滴を必要とする化学療法を行える設備もなければ、治療に習熟したスタッフもいなかったため他院へ紹介されたという出来事がありました。この事例で私は外科医でありながら治療にほとんど関われなかった無念さを感じ、化学療法を当院でも行えるようにしたいという気持ちをより強く持つようになりました。

国分生協病院が新築移転されることが決まった時、外来化学療法室を設置し化学療法が行える環境を構築することを要望しました。外科医療を支える根本である悪性疾患治療に化学療法が必要不可欠になっていること、霧島地域で化学療法を行っている医療機関がほとんどなく、地域のニーズがあることからこの要望が受け入れられました。

谷口：新病院での新たな化学療法をスタートさせる

にあたり、取り組んだことを教えてください。

鈴東：2018年1月からの外来化学療法開始へ向け、まずは病棟での入院化学療法を2017年2月より開始しました。専用キャビネットを購入し、ミキシング（薬剤を詰めること）が可能となりました。化学療法委員会を立ち上げ、当法人でのマニュアルを参考に運用マニュアルを整備しました。化学療法のレジメンを登録制とし、指示量を間違えないように電子カルテのシステムを導入しました。治療に関わるスタッフとの学習会を繰り返し行い、化学療法への理解を深めるようにしました。

化学療法再開後、胃がん、大腸がん、胆管がんの患者さんに対し外来または入院での治療を行っています。まだ患者さんの人数はそれほど多くはありませんが、地域の方々のニーズに少しでも応えることができればと考えています。



鈴東医師 回診の様子

部門紹介



地域包括ケア病棟 ～住み慣れた我が家へ、地域へ～

当病棟は2017年5月、療養病棟から地域包括ケア病棟へ転換、より‘在宅’を意識した看護・介護の提供を行っています。患者・家族が安心・安全に療養及び在宅生活が送れるように、年3回の介護体験教室を企画開催したり、担当看護師・介護福祉士・リハビリスタッフと協働で個々の生活目標を掲げ、いきいき活動として在宅で継続できるようリハビリや体操など実践し、日々生活向上を目指し、楽しく頑張っています。その結果、食事摂取量が増えたり、トイレでの排泄が可能になったり、表情が豊かになったりと、ADLやQOLの向上に繋がっています。また昨年度より持ち上げない・抱え上げない看護・介護の提供としてノーリフトケアの導入にも取り組み、「これはいいね。安心だね」「もっと早くから知っていればよかった」などの声を頂いており、介護される方・介護する方への身体への負担軽減につながっています。

患者さんの笑顔と元気が私たちの原動力です。今まで以上に専門性に磨きをかけ、住み慣れた我が家へ、また地域へ帰れるよう在宅支援に努めます。今後ともよろしく願いいたします。



職員紹介



～患者さんの『食』を守るために～

言語聴覚士 香川勇治

当院の言語聴覚士の仕事内容としては、主に成人患者さんの摂食・嚥下障害と言われる『食べる障害』や失語症、構音障害と言われる『ことばの障害』を対象に日々の診療を行っています。また、栄養サポートチームに所属し、他職種と協力し入院患者さんの栄養管理を行い患者さんの治療のお手伝いをさせて頂いています。

特に摂食・嚥下障害には力を入れており人工呼吸器装着の患者さんや認知症を伴い食事が進まない患者さんなどにも早期から言語聴覚士が介入し口から食べる『経口摂取』をスタッフ一同が力を合わせて目指しています。食べられるようになった時の患者さんの笑顔や好きな物をご家族が持ってきて美味しく食べている様子を見るとやっぱり嬉しくなります。逆に食べられない、コミュニケーションが取れないことは孤独を生むことにもなりかねません。みんなで話しながら美味しい食事をとることが大好きな自分は、そんな患者さんの力に少しでもなりたいたったのがこの仕事を選んだきっかけです。ちなみに・・・私の誕生日は9月1日で日本の『言語聴覚の日』も同じ9月1日・・・天職なのかもしれません！！

食事を美味しく食べて病気を治す！！病気を治すために食べる！！患者さんの『食』を守ることをこれからも日々取り組んでいきます。



<プロフィール>

2007年4月 言語聴覚士 取得
2009年4月 鹿児島生協病院入職
2015年4月 国分生協病院 異動

第2回地域連携学習会～当院の呼吸器治療について～

2017年12月13日（水）に、第2回地域連携学習会が開催されました。霧島・始良地域を中心に10医療機関9施設から、計80名の方々に参加して頂きました。

今回の内容としては、「呼吸器治療」をテーマに、①COPDの診断と薬剤治療（榎田医師）、②COPDに対するリハビリ（吉野理学療法士）、③呼吸器リハビリテーションの実際（前田理学療法士）に関して、それぞれ講演を行いました。榎田医師からは、COPDの定義、薬物療法のアルゴリズムなどを分かりやすく説明し、リハビリに関しては、実践に沿った排痰訓練の様子も見て頂きました。全体的な感想としても、「とても分かりやすく、臨床に活かしたい」等の好評の声を頂くことが出来ました。また学習会前には、内覧会を行い、新病院新設のMRI、外来通院治療室などを見て頂き、当院の医療活動を知ってもらうよい機会となりました。

今後も定期的な学習会開催を行い、地域の医療機関、施設等の方々と顔の見える連携作りを構築していきたいと思えます。入院相談等、当院に対する問い合わせ等に関しては、地域連携室を窓口にして頂ければと思います。

今後とも、当院との連携の程よろしくお願ひします。



80名の参加となりました



榎田医師による講演



吉野理学療法士による講演



排痰訓練の様子

2018年度医師体制のお知らせ

国分生協病院 病院長 山下義仁

拝啓、時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、当院との医療連携につきましては格段のご支援とご協力を賜り心より御礼申し上げます。さて、今年度の医師体制が固まりましたので、お知らせさせて頂きたいと思っております。

昨年の新病院移転、医師異動に伴い体制の変更等、慌ただしい日々ではありますが、引き続きよりよい医療を患者、地域の皆様に提供できるようにと考えております。今後とも、御紹介等も含めて、当院との連携の程よろしくお願いいたします。

敬 具

2018年 4月外来体制表 国分生協病院

		月	火	水	木	金	土	
午前	一般内科 (8:45~12:00)	檜田祐一	吉 見	檜田祐一	檜田祐一	吉 見	檜田祐一	
	専門 外来 (8:45~ 11:00)	循環器	吉 見	柴 田	吉 見	吉 見		吉見(4/21のみ)
		呼吸器	山 下	檜田祐一	隈 元		檜田祐一	山下(第2・4)
		消化器・肝臓		小坂元	長 谷		長 谷	長谷(第1・3)
		腎・膠原病	町 元	吉 峯		町 元		
		神経内科				支援医		
	外 科 (9:30~12:00)			税 所		税 所		
小児科 (9:00~12:00)	酒 井	酒 井	酒 井	酒 井	【一般+特診】 森田(第1・2) 玉江(第3)、交替(第4)	交 替 2週目休診		
午後	内 科	予約のみ 14:00~16:00		山下(禁煙外来)				
		15:00~17:00	檜田祐一	檜田祐一		交 替	交 替	
		予約のみ 15:00~17:00		大久保		支援医(神経内科) 大久保	山 下	
		17:00~18:30	交 替	交 替		交 替	交 替	
	小児科	予約のみ 予防接種/健診 14:00~16:00		(14:00~16:00) 酒井 ※予約制:予防接種+健診		(14:00~15:30) 酒井 ※予約制:予防接種のみ	(14:00~16:00) 予約のみ 特診(第1・2)→森田 腎特診(第3)→玉江 ※(森田のみ14:00~ 17:30) ※第4のみ休診	
		16:00~18:30 (金曜は予約のみ)	(16:00~18:30) 酒井 (一般+予約)			(16:00~18:30) 酒井 (一般+予約)		

※内科の専門外来に関しては予約制となっています。予約がない場合は一般内科外来担当医で対応させていただきます。

※緊急紹介、入院が必要な方の紹介に関しては、上記体制に限らないので、お電話をお願いします。

※CKDネットワークに関する紹介は、腎臓内科担当医の予約を取って頂くよう、お願いします。

※火曜日の14時より禁煙外来を新設しました。予約制になりますので、ご希望の方はご連絡をお願いします。

新病院住所 〒899-4332 霧島市国分中央3丁目38-14

新病院連絡先 TEL 0995-45-4806 FAX 0995-45-4938



鹿児島医療生活協同組合
国分生協病院

〒899-4332 鹿児島県霧島市国分中央3丁目38-14
電話(0995)45-4806 FAX(0995)45-4938
<http://kokubu-seikyo.jp/>